

マニフェスト工程計画

(令和5年度～令和9年度)

自己評価表

元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち



令和6年7月



豊川市

1

マニフェスト工程計画自己評価表について

マニフェスト工程計画自己評価表（令和6年7月）は、令和6年2月に発表したマニフェスト工程計画について、これまでの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、工程計画に対する事業の進捗や成果を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

2

自己評価評点について

提案事業ごとの自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が100点になるように調整して、基本理念ごとの評点及び総合評点を算出しています。

基本理念	配点
1 暮らしやすさ第一豊川市	40点
2 子育て豊川応援団	30点
3 市民と創る協働と健全財政のまち	30点

3

マニフェスト項目別評価一覧

総合評点			
R6	R7	R8	R9
70/100点	/100点	/100点	/100点

基本理念 1

暮らしやすさ第一豊川市

毎年 1, 0 0 0 人の社会増を目指す

R6	R7	R8	R9
27/40 点	/40 点	/40 点	/40 点



戦略 1 雇用の創出など人口増施策【人口増】

	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案1 愛知御津駅橋上化建設整備(継続)	3			
提案2 新規工業団地整備(白鳥地区、豊川為当 IC 地区)	3			
提案3 市長自らによる企業誘致トップセールス(継続)	4			
提案4 「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト	3			
提案5 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲(継続)	3			
提案6 新規土地区画整理事業適地調査	3			

戦略 2 活みなぎる元気なまち【産業・観光】

提案7 商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援(継続)	3
提案8 スタートアップ支援事業	3
提案9 農業基盤整備の促進	3
提案10 バラを始め豊川ブランドの全国 PR(継続)	4
提案11 豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備	3
提案12 ホテル・バンケットルーム誘致事業	3

戦略 3 市民の安全・安心を守る【安全・安心・基盤整備】

提案13 河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置	3
提案14 雨水対策事業の拡充	3

	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案15 無電柱化事業の推進	3			
提案16 自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大	5			
提案17 暫定用途地域解消に向けた基盤整備	3			
提案18 町内会要望等住民密着予算の拡充(継続)	4			

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり【文化・スポーツ】

提案19 御油生涯学習センターの建替整備	3
提案20 赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化	3
提案21 スポーツ・文化活動激励金の増額	5
提案22 リレーマラソン等おもてなし事業の拡充(継続)	3

★愛知県の人口動向統計(あいちの人口:年報)による人口増減推移

(人)

	R1	R2	R3	R4
人口	184,457	184,661	184,572	184,357
自然増減	—	▲355	▲493	▲663
社会増減	—	559	404	448
合計増減	—	204	▲89	▲215
	R5	R6	R7	R8
人口	184,245			
自然増減	▲902			
社会増減	790			
合計増減	▲112			

※R5…令和5年12月発表(令和4年10月1日～令和5年9月30日)数値

https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/495523_2264251_misc.pdf



【参考：国勢調査人口】

平成27年	182,436
令和2年	184,661
増減	2,225

日本一子育てしやすいまち

R6	R7	R8	R9
23/30点	/30点	/30点	/30点



戦略5 子育て世代を全力で応援【子育て支援】

R6 評点 R7 評点 R8 評点 R9 評点

提案23	高校3年生世代までの通院医療費無料化	5
提案24	保育園・幼稚園給食費無料化	5
提案25	ファーストバースデー祝い金の4年間延長	5
提案26	民間も含めた保育園の計画的な建替整備(継続)	3
提案27	私立幼稚園入園応援金支給事業	3

戦略6 子どもたちに希望を与える教育【教育】

提案28	小坂井中学校整備事業	3
提案29	小中学校特別教室空調設備設置事業	3
提案30	教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充	3
提案31	スクールソーシャルワーカーの増員	3
提案32	地産地消の推進と学校給食費据え置き(物価高騰分公費負担)	4

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち【健康福祉】

提案33	シルバー人材センター事業への支援拡充(継続)	4
提案34	福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充	5
提案35	障がい者サポート店舗への改修費助成事業	3
提案36	コミュニティソーシャルワーカーの増員	3
提案37	成人歯科健診検査項目(パノラマ撮影)増設	5

市民が主役の市政を進める

R6	R7	R8	R9
20/30点	/30点	/30点	/30点



戦略 8 市民の主体的な活動を応援

【市民との協働】

提案38	消防団員・交通指導隊員等の処遇改善(継続)	3
提案39	消防団長沢分団詰所建替整備	3
提案40	町内会役員負担軽減事業	3
提案41	ボランティア・地域貢献企業マッチングシステムの構築	3

R6	R7	R8	R9
評点	評点	評点	評点

戦略 9 みんなで行動する環境のまち【環境】

提案42	住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充	4
提案43	次世代自動車購入費補助	5
提案44	中小企業向け省エネセミナー開催	3
提案45	公共施設のカーボンニュートラル推進	3
提案46	パーク・アンド・ライドの推進(継続)	3

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持【行財政運営】

提案47	職員の適正配置と職員研修の充実	3
提案48	ファシリティマネジメント(一宮地区公共施設再編事業)	3
提案49	合併推進債を活用した本庁舎建替整備	3
提案50	臨時財政対策債(赤字地方債)未発行	5

4

マニフェスト工程計画自己評価表の見方

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

戦略2 活みなぎる元気なまち

提案7

1. 工程計画

令和6年2月公表の工程計画を記載しています。

提案7	商工会議所・商工会・農協	産業環境部商工観光課・農務課
実施内容	各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。	
工程計画		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
産業支援あり方検討会の開催		新たな商工業支援事業の実施
農業担い手育成総合支援協議会の開催		
3.0	3.0	
3.0		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)

・・・・【水色】 検討、調整、準備、段階的实施
 >>>>>> 【薄青色】 既存の取組
 >>>>> 【濃青色】 マニフェストによる新規の取組
 >>>>> 【薄緑色】 前マニフェストから引き続き実施する既存の取組
 >・>・>・>・> 【緑色】 既存の取組をマニフェストにより拡充する取組

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農業担い手育成総合支援協議会実施回数	目標	3回	3回	2回	2回	
	実績	(4回)				
	目標					
	実績					
	目標					

事業実施状況の年度ごとの活動指標やスケジュールの目標・実績が記載されています。実績の()は令和6年度予算に計上された活動予定の数です。

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【産業支援あり方検討会】 市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。令和5年度は、市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。令和5年度は、市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。

【農業担い手育成総合支援協議会】 令和5年度は、市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。令和5年度は、市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。令和5年度は、市内経済団体と連携し、産業支援のあり方を検討し、協働しながら取り組む。

今年度以降の取組予定

引き続き各種団体等と連携し、既存の支援事業を実施するとともに、令和7年度から実施する新たな支援事業について検討する。

4. 評価

事業実施による成果や自己評価の内容を記載しています。

進捗状況に対する自己評価

工程計画に沿って進んでいると評価する。

評価	
R5	3
R6	
R7	
R8	

1～5点の自己評価評価点を記載しています。

1. 工程計画

提 案 1	愛知御津駅橋上化建設整備（継続）		担当部署	都市整備部市街地整備課	
実施内容	令和10年度の供用開始を目指し、愛知御津駅の橋上化整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
自由通路及び橋上駅舎化詳細設計					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>		
	自由通路及び橋上駅舎化整備工事				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	周辺整備工事（仮設道路等）				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
23.6	237.2	613.6	615.4	926.2	
7.7					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自由通路及び橋上駅舎化整備工程	目標	詳細設計	詳細設計・工事	詳細設計・工事	詳細設計・工事	工事
	実績	詳細設計	(詳細設計・工事)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年5月にJR東海と設計協定を締結し、工事着手に向けた詳細設計等を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、引き続きとなる詳細設計や既設構造物撤去等整地工事を実施するとともに、JR東海による工事(自由通路・駅舎)の着手を目指し、JR東海との工事協定の締結に向けた調整を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 2	新規工業団地整備（白鳥地区、豊川為当 I C 地区）		担当部署	産業環境部企業立地推進課
実施内容	新規工業団地の整備に係る調査・設計、工事、関係機関等との調整を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
【白鳥地区】周辺道路整備に係る設計・関係機関協議 >>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	周辺道路整備に係る工事 >>>>>	>>>>>
【豊川為当IC地区】開発に伴う調査・関係機関協議・設計 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
45.5	27.2	未定	未定	未定
37.5				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
白鳥地区整備工程	目標	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備工事	周辺道路整備工事
	実績	周辺道路整備設計	(周辺道路整備設計)			
豊川為当IC地区整備工程	目標	関係機関協議	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備工事	周辺道路整備工事
	実績	関係機関協議	(周辺道路整備設計)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【白鳥地区】 令和5年度は、周辺道路整備の詳細設計を実施した。令和6年1月に、事業主体となる企業庁が開発を決定した。 【豊川為当IC地区】 令和5年度は、県警を始めとした各関係機関と工業団地整備に向けての協議を行い、地権者及び地元住民に対しては説明会を実施した。
今年度以降の取組予定
【白鳥地区】 引き続き周辺道路に係る設計等を実施するとともに、開発区域内地権者との用地取得契約を進捗させる。 【豊川為当IC地区】 引き続き関係機関との協議を実施するとともに、地権者からの開発事業に対する同意取得を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 3	市長自らによる企業誘致トップセールス（継続）		担当部署	産業環境部企業立地推進課	
実施内容	企業誘致に向け、市長が各企業へトップセールスを実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
産業立地セミナーや個別企業訪問等でトップセールスを実施					
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
0.1					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
トップセールス実施回数	目標	2回	5回	5回	5回	5回
	実績	3回	(5回)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
愛知県主催のセミナーと豊川市企業立地情報交換会において、市長によるプレゼンテーション(各1回)を実施するとともに、市長自ら企業訪問する等のトップセールスを行い、御津1区(2期エリア)への1社進出につながった。
今年度以降の取組予定
引き続き愛知県主催のセミナー等に積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施する。また、工場等の建設を検討する企業への市長による訪問について継続して行い、企業誘致を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業を実施し、トップセールスが企業進出につながる等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 4	「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト		担当部署	企画部元気なとよかわ 発信課・情報政策課
実施内容	移住情報を含めた魅力発信を行うシティセールスとして、「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクトを展開します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住定住等イベント出展 >>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	移住情報を含めた魅力発信事業 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
14.1	21.6	15.0	15.7	14.9
13.5				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住定住等イベントへ出展回数	目標	1回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	(2回)			
移住情報を含めた魅力発信事業	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		(1式)			
市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業の実施回数	目標	0回	8回	5回	5回	5回
	実績	1回	(8回)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【移住定住等イベント出展】 令和5年度は、国内最大級の移住フェアである「ふるさと回帰フェア2023」(東京国際フォーラム)への出展や愛知県と合同での「ふるさと暮らしセミナー」(ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区))を開催し、来場者への豊川市の魅力PRや、計15組の移住希望者に対する個別相談等を実施した。 【魅力発信事業】 LINE公式アカウントを取得し、令和5年10月にLINEによる情報発信を開始した。令和6年2月には、イオンモール豊川において市制施行80周年記念式典アフターパーティーとして、とよかわ広報大使の渡辺いづけ氏と小林拓一郎氏によるトークショーを開催し、市内外の方に市の魅力を発信した。
今年度以降の取組予定
【移住定住等イベント出展】 令和6年度は、引き続き「ふるさと回帰フェア2024」へ出展するとともに、豊川市で暮らす人、ゆかりのある人の声を通して、まちの魅力を伝える豊川市定住促進サイト「CITY AND PEOPLE～ひとのわ、とよかわ。～」に登場した方々を会したイベントを、イオンモール豊川とタイアップして開催する。 【魅力発信事業】 令和6年度は、移住情報を含めた魅力発信事業として、移住希望者をターゲットに豊川市の魅力を発信する動画作成・配信や、LINEの機能拡充によるセグメント配信(利用者が希望する分野の情報を選択できる機能)を活用した情報配信等を実施する。市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業としては、広報大使による本市の魅力発信動画作成・配信や、豊川市制施行80周年PRアンバサダーを務めた「豊川豊」によるプロモーション事業等を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、魅力発信事業の充実に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 5	市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲（継続）		担当部署	財務部財産管理課 建設部建築課
実施内容	老朽化により廃止予定の市営住宅の入居者移転・解体工事等を行うとともに、未活用市有地の売却を進めます。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
未活用市有地の売却 >>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
市営住宅の入居者移転・解体工事等 >>>>>>>	>>>>>>	萩住宅跡地の売却開始 >>>>>>>	>>>>>>	広石住宅跡地の売却開始 >>>>>>>
20.3	13.6	39.9	0.1	0.0
20.9				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
未活用市有地の売却工程	目標	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等
	実績	売却	(鑑定・売却等)			
萩住宅移転・解体等工程	目標	解体工事3棟	登記等	鑑定・売却開始		
	実績	解体工事3棟	(登記等)			
広石住宅移転・解体等工程	目標	入居者移転	入居者移転・解体工事	解体工事	跡地整備・登記等	鑑定・売却開始
	実績	入居者移転	(入居者移転・解体工事)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【未活用市有地の売却】 売却に向けた不動産鑑定や入札等を実施し、令和5年度は1,412.13㎡を宅地利用地として売却した。 【萩住宅移転・解体等】 令和5年度に3棟の解体を実施し、全13棟の解体が完了した。 【広石住宅移転・解体等】 令和5年度は、4戸の移転を完了した。
今年度以降の取組予定
【未活用市有地の売却】 引き続き、広告看板による周知や不動産鑑定等を実施し、売却を進める。 【萩住宅移転・解体等】 令和6年度は、分・合筆等の登記を実施し、令和7年度の跡地売却開始を目指す。 【広石住宅移転・解体等】 令和6年度は、1戸の移転交渉を進めるとともに、1棟の解体工事を実施し、令和9年度の跡地売却開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 6	新規土地区画整理事業適地調査		担当部署	都市整備部区画整理課
実施内容	新規土地区画整理事業の適地調査を進めます。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	適地調査の実施			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	3.8	4.8	4.7	5.0
—				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
適地調査工程	目標		適地調査業務	適地調査業務	詳細調査業務	地元意向調査
	実績		(適地調査業務)			
適地事業化準備工程	目標		測量等調査	未定	未定	未定
	実績		(測量等調査)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
適地調査の調査方針や調査項目等の検討を行い、市街化区域における、概ね5ha未満のまとまった低未利用地を対象として調査を実施し、現況調査や分析により適地として選定された箇所について、地元意向調査や提案書の作成を行う方針とした。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、都市的土地利用が進んでいない「低未利用土地」エリアを、令和7年度以降は、地域拠点駅周辺地区においてコインパーキングや空き家等が面的に散在している「スポンジ化」エリアを対象として適地調査等を実施する。 また、令和6年3月末に「低未利用土地」エリアにおいて1か所、地元から技術的援助の請求(法律に基づく地権者の仮同意を伴う区画整理整備の要望)が提出されたことから、令和6年6月補正予算で予算を確保し、詳細調査の一環としての測量・設計等を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、適地調査に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 7		商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援（継続）		担当部署	産業環境部商工観光課・農務課
実施内容		各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。			
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度			
産業支援あり方検討会の開催					
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
		新たな商工業支援事業の実施			
		>>>>>>		>>>>>>	
農業担い手育成総合支援協議会の開催					
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
		新たな農業支援事業の実施			
		>>>>>>		>>>>>>	
3.0		3.0		未定	
3.0					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内 容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農業担い手育成総合支援協議会実施回数	目標	3回	3回	3回	2回	2回
	実績	4回	(4回)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【産業支援あり方検討会】 市内経済団体と市で構成する「産業支援あり方検討会」において、令和5年度は支援施策の課題整理と方向性の検討を行い、協働しながら取り組んでいく事業の検討を実施した。 【農業担い手育成総合支援協議会】 令和5年度は、これからの農業を担う人材育成を目的とした「就農塾」を実施したほか、露地野菜で新規就農したい方を受け入れる農家の負担軽減を図る新規就農者研修受入支援事業補助金を新設するとともに、国の制度を活用した新規就農者育成総合対策(経営開始資金、経営発展支援事業)等を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き各種団体等と連携し、既存の支援事業を実施するとともに、令和7年度から実施する新たな支援事業について検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 8	スタートアップ支援事業		担当部署	産業環境部商工観光課	
実施内容	これまでの創業・起業支援事業に加え、新産業創出に向けたスタートアップ支援を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度			
とよかわ創業・起業支援ネットワークを起点とした創業等支援事業の実施					
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
		新事業創出支援セミナー等の実施		新規支援事業の実施	
.....		>>>>>		>>>>>	
3.2		7.5		7.3	
未定		未定		未定	
3.0					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
創業等支援事業の実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	(2回)			
新事業創出支援セミナー等の実施回数	目標	調査検討	2回	2回	2回	2回
	実績	調査検討	(2回)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【創業等支援事業】 これから創業しようとする方を対象とした創業支援イベントに加え、市内高校に通う高校生を対象とした創業に関する講義を実施した。 【新事業創出支援セミナー等】 市内中小企業や行政とスタートアップ企業(革新的なビジネスモデルを用いて急成長を目指す企業及びその創業者等)とが連携し、地域に適したスタートアップ・エコシステム(スタートアップを支援の対象とし、新事業創出の活性化により起業家を継続的に生み出す仕組み)を構築するための支援策を検討した。
今年度以降の取組予定
【創業等支援事業】 引き続き、創業支援イベントや高校生を対象とした講義を実施するとともに、創業後の販路開拓を目的としたイベントを実施する。 【新事業創出支援セミナー等】 令和6年度は、市内中小企業等を対象に、スタートアップと連携して新事業の創出や自社課題を解決するための機運醸成セミナー、ワークショップを実施するとともに、行政職員を対象に、スタートアップと連携して行政サービスの向上を図るための機運醸成勉強会を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、新事業創出支援セミナー等に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 9	農業基盤整備の促進		担当部署	産業環境部農務課	
実施内容	愛知県による長沢地区の土地改良事業の採択に向けた調査等を行い、農業基盤整備の促進に取り組めます。				
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度		令和 10 年度	
調査		国及び愛知県事業採択に向けた調整		基盤整備開始	
>>>>>>		>>>>>		>>>>>	
3.6		12.4		19.5	
3.0					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
長沢地区土地改良事業工程	目標	調査	計画構想図作成	国・県審査資料作成	詳細設計(県)	工事(県)
	実績	調査	(計画構想図作成)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、現地踏査、計画構想図(案)作成や、営農意向調査、担い手状況の把握等を行い、地区の現況や整備の方向性を整理するとともに、地権者への説明会や営農意向調査を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、地元の合意形成を図るとともに、計画構想図を作成し、令和9年度からの県による着工を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、計画構想図作成に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 10	バラを始め豊川ブランドの全国PR（継続）		担当部署	産業環境部農務課・商工観光課
実施内容	とよかわブランドに認定された「とよかわバラ」を始めとする農産物や商品の販路開拓等を支援するとともに、県内外の展示会への出展等による全国PRを実施します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
とよかわブランド推進事業費補助・県内外の展示会等への出展				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	首都圏でのトップセールスの実施			
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	とよかわブランド活用イベントの実施			
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
2.5	3.5	3.5	3.5	3.5
1.5				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
県内外の展示会等への出展回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	5回	(3回)			
首都圏でのトップセールスの実施回数	目標	—	1回	1回	1回	1回
	実績	2回	(1回)			
とよかわブランド活用イベント	目標		1回	1回	1回	1回
	実績		(1回)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【とよかわブランド推進事業】「豊川大葉一ガー」、「豊川大葉ポテト」、「大葉たこせん」等の新商品の開発や「とよかわブランドフェス」の開催等、民間事業者等が行うとよかわブランド商品の販売促進や普及啓発活動を支援した。 【県内外の展示会等への出展】 令和5年度は、展示会等に5回出展(赤塚山公園リニューアルオープンイベント、いい大葉の日キャンペーン、日本橋イベントスペース、農協アグリフェスタ、フラワーバレンタインダービー)し、豊川産農産物の販売、配布やPRを実施した。 【首都圏でのトップセールス】 JAひまわりと共同で、大田花き市場へ2回出向き、トップセールスを実施した。
今年度以降の取組予定
【とよかわブランド推進事業】 引き続き、民間事業者等が行うとよかわブランド普及・推進活動を支援する。 【県内外の展示会等への出展回数】 引き続き、県内外での展示会等に出展し、豊川産農産物及び加工品のPR活動を実施する。 【首都圏でのトップセールス】 豊川産農産物を多く出荷している首都圏の市場で、市長自らによるPR活動を実施する。 【とよかわブランドイベント】 とよかわブランドをはじめとした市内の観光資源・名産品等をPR・活用したスタンプラリー等の誘客事業を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
県内外への展示会等への出展や首都圏でのトップセールスを工程計画以上に実施し、さらにはとよかわブランドを活用した新たな商品が開発される等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 11	豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備		担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課・公園緑地課 建設部道路河川管理課	
実施内容	豊川稲荷の御開帳（午年開帳：令和 8 年11月、大開帳：令和12年 8 月～11月）に向けて、門前を中心とした豊川地区の基盤整備を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
門前周辺の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	基本計画 >>>>>>>>	実施設計・整備工事 >>>>>>>>	>>>>>>>>		
	豊川駅東西自由通路の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	天井塗装・修繕等 >>>>>>>>		エレベーター改修工事 >>>>>>>>	
	稲荷公園の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	実施設計 >>>>>>>>	整備工事 >>>>>>>>		
		豊川稲荷前交差点無電柱化 ● ● ● ● ● ● ● ●	電線共同溝整備設計・工事 >>>>>>>>	>>>>>>>>	
—	37.4	307.3	228.5	150.0	
—					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
門前周辺の整備工程	目標	検討・調査	基本計画	実施設計・工事	工事	
	実績	検討・調査	(基本計画)			
豊川駅東西自由通路修繕等工程	目標	検討・調査	調査・実施設計	実施設計・天井等修繕	検討・調査	エレベーター改修工事
	実績	検討・調査	(調査・実施設計)			
稲荷公園の再整備工程	目標		検討・調査	実施設計・工事	工事	
	実績		(検討・調査)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【門前周辺の整備】 令和5年度は、門前周辺道路の石畳風舗装整備や照明による空間整備の方針を検討するとともに、関係機関との調整等を実施した。 【豊川駅東西自由通路修繕等】 令和5年度は、天井やエレベーターの修繕・改修工程計画の検討を実施した。
今年度以降の取組予定
【門前周辺の整備】 令和6年度は、ワークショップや基本計画策定を実施し、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。 【豊川駅東西自由通路修繕等】 令和6年度は、天井の雨漏り・損傷箇所等の現状調査を実施し、令和9年度にかけて、修繕・改修等を順次、計画的に進める。 【稲荷公園の再整備】 令和6年度は、再整備方針や再整備箇所の検討を実施し、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。 【豊川稲荷前交差点無電柱化】 令和6年度は、道路管理者である愛知県との調整等を実施し、令和8年度の着工を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、門前周辺の整備に向けた基本計画策定等に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 12	ホテル・バンケットルーム誘致事業		担当部署	産業環境部商工観光課	
実施内容	ホテルやバンケットルーム出店者に対する支援制度を創設し、誘致に向けた P R 活動を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	支援制度の創設、誘致・PR活動開始				
・ ・ ・ ・ ・	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	—	未定	未定	
—					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
支援制度の創設・誘致PR活動工程	目標	制度検討	制度創設・誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動
	実績	制度検討	(制度創設・誘致PR活動)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
近隣市の状況等の調査により、ニーズや補助対象、補助額等を検討し、ホテル・バンケットルーム出店奨励金交付制度の要綱を制定した。
今年度以降の取組予定
早期の誘致に向けて、支援制度のPR活動を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度からの支援制度を創設し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 13	河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置		担当部署	建設部道路河川管理課	
実施内容	道路冠水や河川越水の想定箇所に、監視カメラを増設します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
河川及び冠水監視カメラの増設					
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
6.0	6.5	6.5	6.5	6.5	
5.4					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
監視カメラ増設箇所数	目標	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
	実績	2箇所	(2箇所)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、河川水位監視カメラを諏訪川向山橋に、道路冠水監視カメラを蔵子地区(蔵子一丁目信号交差点)に設置した。
今年度以降の取組予定
令和6年度以降、河川水位監視カメラを帯川宇通橋、西古瀬川裏大橋、佐奈川新川橋、帯川新切橋に、道路冠水監視カメラを新道町地区、小田渚町地区、蔵子地区、伊奈町地区に、各年度に1箇所ずつ(計2箇所)計画的に設置する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 14	雨水対策事業の拡充		担当部署	上下水道部下水整備課 建設部道路河川管理課 危機管理課	
実施内容	雨水浸透施設の整備等を進めるとともに、内水ハザードマップを作成します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
雨水浸透施設（トレンチ管）の設置		設置区域の拡充			
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
雨水浸透施設等設置費補助	補助の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>>>>>>	
		内水ハザードマップの作成・配布			
		>>>>>>			
	新たな貯留・浸透施設等の検討				
	・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	
33.8	37.3	48.9	39.8	36.1	
5.4					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
雨水浸透施設(トレンチ管)各年度整備量	目標	350m	350m	450m	450m	450m
	実績	44m	(350m)			
雨水浸透ます設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限2万円	上限3万円	上限3万円	上限3万円	上限2万円
	実績	上限2万円	上限3万円			
雨水貯留施設設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限3.3万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限3.3万円
	実績	上限3.3万円	上限4.95万円			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【雨水浸透施設(トレンチ管)の設置】 令和5年度は、予定布設延長350mのところ、整備に係る国庫補助金が大幅に減額されたことにより、44mの布設にとどまった。 【雨水浸透施設等設置費補助】 個人宅内等に設置して雨水の流出を軽減する、雨水浸透ます及び雨水貯留施設設置費補助制度について、近隣市の状況等を踏まえ、補助額増額の制度改正を実施した。
今年度以降の取組予定
【雨水浸透施設(トレンチ管)の設置】 令和6年度は、豊川市雨水浸透施設設置事業実施計画の変更(区域の拡大)による国庫補助金の確保を図り、令和7年度から事業費を増額して整備を進捗させる。 【雨水浸透施設等設置費補助】 拡充した補助内容の周知・PRを実施し、申請件数の増加と雨水流出の軽減を図る。 【内水ハザードマップの作成・配布】 令和6年度は、河川氾濫、高潮、内水氾濫等を併せたハザードマップを作成するためのデータを収集し、令和7年度に作成と全戸配布を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和5年度の雨水浸透施設(トレンチ管)整備延長が、国庫補助金の大幅な減額により目標に満たない実績となったものの、令和6年度当初予算において、雨水浸透ますと雨水貯留施設設置費補助の拡充に係る経費を計上し、概ね工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 15	無電柱化事業の推進		担当部署	都市整備部市街地整備課	
実施内容	市道の無電柱化を推進するとともに、愛知県が施工する姫街道線の無電柱化の促進に取り組みます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
市道前田豊川線の無電柱化					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
		次期無電柱化候補路線の検討（候補路線の抽出・愛知県無電柱化計画との調整等）			
		・ ・ ・ ・ ・	>>>>>>	>>>>>>	
姫街道線の無電柱化促進					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
15.1	21.1	232.1	203.1	0.1	
13.3					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
前田豊川線無電柱化工程	目標	予備設計	詳細設計	工事	工事	抜柱
	実績	予備設計	(詳細設計)			
次期無電柱化候補路線の調査検討	目標			調査検討	調査検討	調査検討
	実績					
姫街道線無電柱化(県事業)に係る県との連携	目標	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等
	実績	要望・進捗把握等	(要望・進捗把握等)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【前田豊川線】 令和5年度は、豊川稲荷前交差点から幸町交差点までの工事着手に向けた予備設計や、電線事業者との調整、地元説明会を実施した。 【姫街道線】 県に対して随時の要望活動や連絡・調整を実施した。令和5年度は、諏訪橋西交差点から警察署南交差点間の工事着手に向けた各種法律に基づく手続きが進められ、沿線市民に組回覧で事業概要が周知された。
今年度以降の取組予定
【前田豊川線】 令和6年度は詳細設計を実施し、令和7年度の工事着手を目指す。 【姫街道線】 引き続き、県に対して要望活動や連絡・調整を実施する。令和6年度は、工事着手に先立つ支障移転工事に着手する予定である。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 16	自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大		担当部署	市民部人権生活安全課
実施内容	自転車乗車用ヘルメット着用促進補助事業を、対象者を拡大して実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
児童生徒等・高齢者対象 >>>>>>	全年齢対象 >・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
4.4	7.0	7.0	7.0	
3.8				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自転車乗車用ヘルメット着用促進補助件数	目標	2,246件	3,500件	3,500件	3,500件	
	実績	2,008件	(3,500件)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から5年度まで、補助対象を児童・生徒等及び高齢者限定とし、4,196件の補助(補助上限額2,000円/人)を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度から、全年齢を対象に補助を実施する(補助上限額は変更無し)。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、全年齢を対象とする補助に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 17	暫定用途地域解消に向けた基盤整備		担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課	
実施内容	市内に数多く残る暫定用途地域の解消に向けて、調査検討、測量、道路改良工事等の基盤整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
【平尾地区】地区計画道路整備（拡幅改良工事）					
>>>>>>	>>>>>>				
【上宿地区】地籍調査					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>		>>>>>>	
			地区計画道路整備（設計・土地購入等）	>>>>>>	
			>>>>>>	>>>>>>	
【国府高畑地区】都市計画決定手続き			地区計画道路整備（設計・土地購入等）	>>>>>>	
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
【新規地区】	土地利用促進検討業務	庁内検討・関係機関協議等		>>>>>>	
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
52.9	64.9	26.2	42.1	136.7	
46.8					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
上宿地区地籍調査	目標	0.13km ²	0.23km ²	0.23km ²		
	実績	0.13km ²	(0.23km ²)			
上宿地区道路整備	目標				設計	120m
	実績					
国府高畑地区道路整備	目標	地元説明等	都市計画決定手続き	都市計画決定手続き	設計	210m
	実績	地元説明等	(都市計画決定手続き)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【平尾地区】 令和5年度は、区画道路2号線の拡幅改良工事と1号線拡幅改良工事に伴う用地買収を実施した。 【上宿地区】 令和5年度は、0.13km²の地籍調査を実施した。 【国府高畑地区】 令和5年度は、地元勉強会を開催し、都市計画決定を行う「地区計画」案の説明・周知を実施した。
今年度以降の取組予定
【平尾地区】 区画道路1号線の拡幅改良工事を実施し、暫定用途地域解消に伴う基盤整備を進捗させる。 【上宿地区】 引き続き地籍調査を実施し、令和8年度以降の基盤整備(道路拡幅改良工事等)の実施を目指す。 【国府高畑地区】 令和6年度は、地権者等意向調査を実施し、都市計画決定手続きを進める。 【新規地区】 令和6年度は、為当地区及び国府岡本地区において、現況調査や将来の土地利用手法の可能性等を調査する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度予算において、新規地区の暫定用途地域解消に向けた調査に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 18	町内会要望等住民密着予算の拡充（継続）		担当部署	建設部道路建設課・道路河川管理課	
実施内容	町内会要望に基づく道路拡幅等改良工事やカーブミラー等の整備を拡充して実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	改良工事等予算の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
329.7	379.7	379.7	379.7	379.7	
363.4					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
道路拡幅改良工事及びカーブミラー等整備の予算増額(令和5年度当初予算対比)	目標	—	5,000万円	5,000万円	5,000万円	5,000万円
	実績	—	5,000万円			
【参考】町内会要望に基づく改良工事等の件数(設計等委託件数を含む。)	目標	—	—	—	—	—
	実績	311件				
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
町内会要望による道路拡幅等改良工事や交通安全整備事業(カーブミラー等)の令和6年度実施個所・事業の選定を実施した。
今年度以降の取組予定
令和9年度まで引き続き予算を拡充し、町内会要望に係る改良・整備事業を一層進捗させる。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において住民密着予算拡充に係る経費を計上するとともに、令和5年度においても、補正予算計上により町内会要望への対応を充実できたと評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 19	御油生涯学習センターの建替整備		担当部署	教育委員会生涯学習課
実施内容	文化・学習活動の拠点である御油生涯学習センターの建替整備を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	御油生涯学習センター建替整備			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	89.5	26.8	335.0	176.2
—				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
御油生涯学習センターの建替整備工程	目標		用地購入・基本設計	実施設計	建替工事	建替工事
	実績		(用地購入・基本設計)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
地元や関係者との調整を行い、令和4年度に建設予定用地の地元同意と地権者から用地取得の承諾を得て、令和5年度に近隣住民への説明会を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度に用地購入と基本設計を行い、令和9年秋頃の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、用地購入と基本設計に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 20	赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化		担当部署	教育委員会生涯学習課	
実施内容	赤坂の舞台を始めとする地域伝統芸能の活性化に向けた取組に対する支援を拡充します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
無形民俗文化財伝承支援事業		支援事業の拡充			
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
3.3	2.5	未定	未定	未定	
3.2					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演実施回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	1回	(1回)			
地域伝統芸能活性化取組への支援等拡充工程	目標	調査対象検討	ニーズ調査等	支援事業の拡充	支援事業の拡充	支援事業の拡充
	実績	調査対象検討	(ニーズ調査等)			
無形民俗文化財伝承支援事業費補助団体数	目標	3団体	2団体	2団体	2団体	2団体
	実績	3団体	(2団体)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】 令和5年度は、4年ぶりに赤坂の舞台において、小屋掛け(客席を野外とする形式の舞台で、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を備えた特設の観客席の設置)と公演を実施し、約500名の来場があった。また、小屋掛け作業の見学会も実施した。 【地域伝統芸能活性化取組への支援】 令和5年度は、地域伝統芸能活性化の取組の一つとしての無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度を活用し、地元祭礼に使用する山車や小道具の修繕費等を対象に、3団体に補助を実施した。
今年度以降の取組予定
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】 引き続き、赤坂の舞台を活用した公演を実施するとともに、地元企業やボランティア団体等と協働して、小屋掛けの継承と活性化を図る。 【地域伝統芸能活性化取組への支援】 引き続き、無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度での地域伝統芸能の活性化の取組を支援するとともに、令和6年度は、国・県・市の指定がない無形民俗文化財(伝統芸能保存)も含めた支援策の拡充を検討するため、実態・ニーズ調査等を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、赤坂の舞台公演事業に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 21	スポーツ・文化活動激励金の増額		担当部署	教育委員会庶務課・スポーツ課
実施内容	スポーツ・文化活動の全国大会等への参加に対する激励金を増額します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	スポーツ活動激励金の増額・団体上限額の増額			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	文化活動激励金の増額・団体上限額の増額			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
2.3	4.9	4.9	4.9	4.9
3.7				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全国大会出場等激励金の上限(／団体)	目標	10万円	20万円	20万円	20万円	20万円
	実績	10万円	20万円			
全国大会出場等激励金の単価(／人)	目標	5,000円	1万円	1万円	1万円	1万円
	実績	5,000円	1万円			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
近隣市の状況の調査等により、激励金額及び上限額等の拡充を検討し、制度改正を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度から、以下のとおり激励金を増額する。 【スポーツ活動】 その他国際大会:1名につき2万円⇒3万円、全国大会等:1名につき5千円(団体競技上限10万円)⇒1万円(団体競技上限20万円) 【文化活動】 全国大会:1名につき5千円(団体上限10万円)⇒1名につき1万円(団体上限20万円)

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、増額させた激励金支給に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 22	リレーマラソン等おもてなし事業の拡充（継続）	担当部署	教育委員会スポーツ課 産業環境部農務課・商工観光課		
実施内容	リレーマラソンやシティマラソン等において、いなり寿司教室・豊川産農産物のPR等を行う充実した「おもてなしブース」を開設するとともに、ゲストランナーの招聘を引き続き実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
豊川産農産物のPR					
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	
おもてなしブース開設					
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	
リレーマラソン・シティマラソンにゲストランナー招聘					
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	
6.9	4.0	4.0	4.0	4.0	
4.4					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
おもてなしブース延べ出展件数	目標	7件	6件	6件	6件	6件
	実績	7件	(6件)			
ゲストランナー招聘回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	(2回)			
豊川産農産物の配布及び販売数	目標	6,090個	4,090個	4,090個	4,090個	4,090個
	実績	6,090個	(4,090個)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【おもてなしブース開設】 令和5年度は、リレーマラソン、シティマラソン大会、三遠ネオフェニックス豊川市DAY・プレシーズンゲーム等において、豊川産農産物PRコーナーと豊川産農産物の配布・販売や豊川いなり寿司教室を開催するおもてなしブースを出展し、豊川産農産物等のPRを実施した。 【ゲストランナー招聘】 令和5年度は、リレーマラソンにタレントの稲村亜美さん、シティマラソン大会にタレントの本田紗来さんを招聘し、大会を盛り上げた。
今年度以降の取組予定
【おもてなしブース開設】 引き続き、リレーマラソン及びシティマラソン大会等において、豊川産農産物PRコーナーやおもてなしブースを出展する。 【ゲストランナー招聘】 引き続き、リレーマラソン及びシティマラソン大会に、ゲストランナーを招聘する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 23	高校３年生世代までの通院医療費無料化		担当部署	福祉部保険年金課
実施内容	これまでの高校３年生世代までの入院医療費無料化に加え、高校３年生世代までの通院医療費無料化を実施します。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
高校3年生世代までの入院医療費無料化				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	通院医療費無料化対象の拡大			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
6.9	124.6	139.5	139.5	139.5
6.2				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
通院医療費無料化の対象	目標	中学3年生まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学3年生まで	高校3年生世代まで			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
これまでの高校3年生世代までの入院医療費無料化を継続実施するとともに、高校3年生世代までの通院医療費無料化の実施に向け、システム改修や新高校生世代への申請書及び受給者証の発送作業、豊川市医師会をはじめとする市内3師会、愛知県国民健康保険団体連合会等の関係機関との調整を実施し、令和6年4月からの現物給付(利用者が医療費の立替払いと後日申請の必要がなく、窓口での支払いをする必要がない方式)での実施体制を整えた。
今年度以降の取組予定
高校3年生世代までの入通院医療費無料化を継続して実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年4月から、現物給付での高校3年生世代までの通院医療費無料化を開始することができ、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 24	保育園・幼稚園給食費無料化		担当部署	子ども健康部保育課	
実施内容	保育所や認定こども園、幼稚園に通う子の給食費の無料化を実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
給食費の一部減免	給食費の無料化				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
146.5	276.0	276.6	277.3	277.9	
136.8					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公費負担額(月額/人)	目標	2,300円	5,500円	5,500円	5,500円	5,500円
	実績	2,300円	5,500円			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の保護者延べ49,449人(1か月当たり約4,120人)の給食費の一部を市が負担し、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。
今年度以降の取組予定
保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の保護者の給食費の全額を市が負担し、さらなる子育て世帯の経済的負担を軽減する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度4月から、保育園・幼稚園給食費無料化を開始することができ、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 25	ファーストバースデーお祝い金の4年間延長		担当部署	子ども健康部子育て支援課
実施内容	令和3年度から実施している1歳の誕生日を迎える子の保護者に対する「ファーストバースデーお祝い金（豊川市子育て応援金）」の支給を、令和9年度まで延長します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	ファーストバースデーお祝い金支給の継続			
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
45.3	42.3	42.3	42.3	42.3
39.5				

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ファーストバースデーお祝い金支給額 （子1人あたり）	目標	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	実績	3万円	3万円	（3万円）	（3万円）	（3万円）
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から令和5年度まで、延べ4,056人に対してお祝い金の支給を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き、令和9年度まで実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、お祝い金の支給に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 26	民間も含めた保育園の計画的な建替整備（継続）		担当部署	子ども健康部保育課	
実施内容	保育園舎を整備する法人に対して建設に係る費用を補助するとともに、老朽化した公立保育所の建替整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度		令和 10 年度	
第 2 期保育所整備計画に基づく整備		第 3 期保育所整備計画策定		計画に基づく整備	
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
		>>>>>>		>>>>>>	
873.1		425.0		399.1	
867.3				718.4	
				未定	

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
園舎改築工事等に対して補助する私立保育園等の数	目標	1園	1園	1園		未定
	実績	1園	(1園)			
園舎改築工事等を行う公立保育園の数	目標	1園			1園	未定
	実績	1園				
	目標					
	実績					

※2か年度に渡る建て替え事業は、最終年度に数値を計上

3. 進捗状況

前年度までの実施状況	
【私立保育園】	令和5年度に、三蔵子保育園の園舎改築工事に対して、整備費の補助を実施した。
【公立保育園】	令和5年度に、小坂井東保育園の園舎改築工事を実施した。
今年度以降の取組予定	
【私立保育園】	令和6年度に小坂井北こども園(仮称)の園舎改築工事、令和6年度及び7年度に麻生田保育園の園舎改築工事に対して整備費の補助を実施する。
【公立保育園】	令和7年度及び8年度に睦美保育園の園舎改築工事を実施する。
また、令和7年度に第3期保育所整備計画を策定し、令和8年度以降も計画的な建替整備を継続する。	

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 27	私立幼稚園入園応援金支給事業		担当部署	子ども健康部保育課	
実施内容	保護者負担が保育所より割高な幼稚園に入園する子の保護者に対し、応援金を支給します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		入園応援金支給事業の実施			
		>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	12.0	12.3	12.6	
—					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入園応援金支給額(子1人あたり)	目標			3万円	3万円	3万円
	実績					
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、令和6年度募集(令和7年度入園)から制度を開始するにあたり、近隣市の状況等の調査により、ニーズや支給対象、支給額等の検討を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、市広報や各私立幼稚園が作成する入園願書等を活用し、本事業の周知を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度募集における制度開始に向けた準備を進めており、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 28	小坂井中学校整備事業			担当部署	教育委員会庶務課
実施内容	令和11年度の供用開始を目指し、小坂井中学校の全面的な建替整備を進めます。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
小坂井中学校建替整備					
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
7.6	146.2	未定	未定	未定	
6.7					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小坂井中学校建替整備工程	目標	基本計画改訂	基本設計	実施設計	実施設計	建替工事
	実績	基本計画改訂	(基本設計)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、平成29年度に策定した基本構想・基本計画を精査し、令和5年度に基本計画を改訂した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は基本設計を実施し、令和9年度の工事着工を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、基本設計に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 29	小中学校特別教室空調設備設置事業		担当部署	教育委員会庶務課
実施内容	令和９年度夏までの稼働を目指し、全小中学校の特別教室に空調設備を設置します。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
基本設計・実施設計 >>>>>>>		>>>>> 空調設備設置工事 >>>>>	>>>>>	>>>>>
65.0	25.5	1,064.6	309.6	188.8
0.0				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
空調設備設置整備工程	目標	基本設計	実施設計	実施設計・工事	工事	工事
	実績	基本設計	(基本・実施設計)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、基本設計に着手した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は基本設計を完了させ、実施設計に着手し、令和9年度夏までに全小中学校での稼働を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価		評価
令和5年度に基本設計に着手する等、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 30	教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充		担当部署	教育委員会学校教育課
実施内容	部活動外部指導者と学級運営支援員を段階的に増員します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
部活動検討委員会の開催				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	部活動外部指導者の増員			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	学級運営支援員の増員			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
87.1	95.6	102.4	104.4	110.7
80.1				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
部活動外部指導者の配置人数	目標	30名(2h勤務)	35名(2h勤務)	35名(3h勤務)	40名(3h勤務)	45名(3h勤務)
	実績	29名(2h勤務)	(35名(2h勤務))			
学級運営支援員の配置人数(全体)	目標	94名	94名	94名	94名	99名
	実績	95名	(94名)			
学級運営支援員の配置人数(上記のうち4月任用)	目標	36名	52名	64名	69名	74名
	実績	42名	(52名)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【部活動外部指導者】 人員確保のため関係諸団体と連携を図り、令和5年度は29名を配置した。 【学級運営指導員】 各学校から要望の多い4月からの支援員配置を強化し、令和5年度は4月任用を42名、全体で95名を配置した。
今年度以降の取組予定
【部活動外部指導者】 令和6年度は、2時間勤務の配置人数の増加を図り、令和7年度以降は、3時間勤務の配置人数の増員を図る。 【学級運営指導員】 令和6年度以降、4月任用の支援員配置人数の増加を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、部活動外部指導者等の配置人数増加に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 31	スクールソーシャルワーカーの増員		担当部署	教育委員会学校教育課	
実施内容	小中学校におけるスクールソーシャルワーカーを段階的に増員します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	スクールソーシャルワーカーの増員				
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	
3.7	7.7	8.2	12.2	12.3	
3.6					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スクールソーシャルワーカーの配置人数	目標	1名	2名	2名	3名	3名
	実績	1名	2名			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
児童生徒の家庭環境、発達障害等が要因となる不登校傾向を減らすため、令和4年度からスクールソーシャルワーカーを1名配置し、児童生徒や保護者への直接的支援を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度に、社会福祉等の専門的な知識をもったスクールソーシャルワーカーを1名増員して2名体制とし、相談内容の多様化やケースの増加に対応する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、スクールソーシャルワーカー増員に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 32	地産地消の推進と学校給食費据え置き（物価高騰分公費負担）		担当部署	教育委員会学校給食課 産業環境部農務課
実施内容	学校給食への地元食材の活用等により地産地消を推進するとともに、給食費の保護者負担を据え置きとし、物価高騰分を公費負担します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
給食費物価高騰部分公費負担				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
学校給食における地産地消の推進				
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
地産地消調理教室（食育ツアー）の実施				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
69.8	77.1	77.4	77.2	77.2
63.0				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
【小学校】学校給食費保護者負担額 ※()は公費負担額外書き	目標	245円(25円)	245円(35円)	245円(35円)	245円(35円)	245円(35円)
	実績	245円(25円)	245円(35円)			
【中学校】学校給食費保護者負担額 ※()は公費負担額外書き	目標	275円(30円)	275円(40円)	275円(40円)	275円(40円)	275円(40円)
	実績	275円(30円)	275円(40円)			
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.70%	(10%以上)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【学校給食】保護者負担額を平成29年度から小学校245円／食、中学校275円／食としているところ、物価高騰等により値上げをせざるを得なくなったものの、令和4年7月から値上げ分の公費負担を開始し、保護者負担額を平成29年度時点の負担額に据え置いている。また、引き続き地元食材を使用した給食献立コンクールの実施や、地元生産農家との給食会食会等を通じ児童・生徒への地産地消の意識醸成を図るとともに、学校給食における豊川産農産物使用割合の増加に努めた。 【地産地消料理教室(食育ツアー)】小学生とその保護者を対象に、東三温室園芸農業協同組合豊川大葉包装センターの工場見学と大葉や豊川産農産物を使用した料理体験を実施した。
今年度以降の取組予定
【学校給食】物価高騰状況により公費負担額に影響が出ると想定される中、令和6年度はさらなる物価高騰等に対応する必要がある、児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進のため公費負担額を増額し、質を低下させることなく給食を提供する。また、令和6年度以降も引き続き給食献立コンクール、給食会食会等を実施するとともに、豊川産農産物使用割合の増加に努める。 【地産地消料理教室(食育ツアー)】令和6年度以降も引き続き実施し、地産地消の意識醸成を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
学校給食費据え置きについてはマニフェストを達成したと評価し、地産地消の推進については工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 33	シルバー人材センター事業への支援拡充（継続）	担当部署	福祉部介護高齢課		
実施内容	シルバー人材センターが実施する高齢者世帯の日常生活支援に係る事業を拡充して支援するとともに、会員確保や事業の充実に資する取組を支援します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	高齢者の生活支援に係る事業（ちょこっとサポート事業）の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
	会員確保取組支援				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	施設整備支援				
	>>>>>>				
35.6	45.2	43.3	43.3	43.3	
35.9					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ちょこっとサポート事業支援件数	目標	815件	1,200件	1,200件	1,200件	1,200件
	実績	1,439件	(1,200件)			
シルバー人材センターの会員数 ※各年度4月1日現在	目標	1,250人	1,285人	1,325人	1,365人	1,405人
	実績	1,267人	1,324人			
施設整備支援	目標		実施			
	実績		(実施)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から、高齢者同士の支えあいとシルバー人材センターへの就業支援を目的として、シルバー人材センターへの委託により高齢者世帯の日常的な生活支援を行うちょこっとサポート事業を実施し、令和5年度は想定を大幅に上回る支援件数となった。
今年度以降の取組予定
シルバー人材センター活動の周知や新規会員獲得のため、これまでシルバー人材センターが独自の予算で実施してきた会員募集費用等を補助する。また、令和6年度は、高齢である会員や依頼者の安全と利便性を考慮し、事務所機能の一部を高齢者交流施設の2階から1階に移すための施設改修を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業を実施し、ちょこっとサポート事業の支援件数、シルバー人材センターの会員数ともに目標を上回っているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 34	福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充		担当部署	福祉部障害福祉課
実施内容	福祉タクシー・重度障害者用福祉タクシー運賃助成利用券の交付枚数を追加するとともに、福祉タクシー運賃助成利用券の1回あたり利用枚数の制限を撤廃します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	福祉タクシー助成事業の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	重度障害者用福祉タクシー助成事業の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
14.0	20.1	20.7	21.3	21.9
13.4				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
福祉タクシー助成利用券の金額(／年／1人当たり)※令和6年度から1回当たりの利用枚数制限撤廃をあわせて実施	目標	14,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
	実績	14,000円	15,000円			
重度障害者用福祉タクシー助成利用券の金額(／年／1人当たり)	目標	60,000円	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円
	実績	60,000円	70,000円			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、対象者やタクシー会社へ、助成制度の変更と拡充点の周知を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、拡充した内容でタクシー助成を実施するとともに、引き続き周知を行い、制度の利用率向上を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、助成制度拡充に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 35	障がい者サポート店舗への改修費助成事業		担当部署	福祉部障害福祉課	
実施内容	市内事業者等が障害者のために行う社会的障壁の除去や、合理的配慮に関する環境整備を後押しする助成制度を創設します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	助成制度の創設				
.....	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	1.9	1.8	1.8	1.8	
—					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
店舗等改修助成件数	目標		4件	4件	4件	4件
	実績		(4件)			
コミュニケーションツール作成助成件数	目標		3件	3件	3件	3件
	実績		(3件)			
物品購入費助成件数	目標		8件	8件	8件	8件
	実績		(8件)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
近隣市の状況等の調査により、ニーズや補助対象、補助額等を検討し、合理的配慮の提供支援に係る助成制度の要綱を制定した。
今年度以降の取組予定
令和6年度から、事業者やボランティア団体を対象として、合理的配慮に資する段差解消や点字ブロック敷設など店舗等改修工事施工費用助成(上限20万円)、筆談ボード購入など物品購入費用助成(上限10万円)、点字メニュー作成などコミュニケーションツール作成費用助成(上限5万円)を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、障がい者サポート店舗への改修費等助成制度に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 36	コミュニティソーシャルワーカーの増員		担当部署	福祉部地域福祉課	
実施内容	重層的支援体制整備事業の担い手であるコミュニティソーシャルワーカーを増員します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
		コミュニティソーシャルワーカーの増員			
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>・>		>・>・>・>・>	
43.2	49.1	58.4	67.7	67.7	
43.9					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	目標	11人	11人	12人	13人	13人
	実績	11人	(11人)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
社会福祉協議会への委託により、11名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、属性を問わない包括的な支援を実施した。
今年度以降の取組予定
令和7年度に地域福祉課内へ1名増員配置し、令和8年度に社会福祉士等の専門職1名を市職員として配置するため、社会福祉協議会と相談しながら、検討を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
社会福祉協議会との調整を開始し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 37	成人歯科健診検査項目（パノラマ撮影）増設		担当部署	子ども健康部保健センター
実施内容	成人歯科健診の検査項目に、健診精度の高いパノラマ撮影を増設します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	パノラマ撮影増設			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
19.8	24.5	25.7	26.8	28.1
13.9				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
パノラマ撮影増設対象年齢	目標		20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳
	実績		(20歳・30歳)			
【参考】20歳・30歳の歯科健診受診率	目標	—	—	—	—	—
	実績	7.7%				
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市歯科医師会と協議を重ね、令和6年度開始に向けたパノラマ撮影の実施・運用方法を検討した。
今年度以降の取組予定
歯周病の発症率が高まる20歳、30歳を対象に個別通知し、8月頃から個別歯科医療機関で受診を開始する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、パノラマ撮影実施に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 38	消防団員・交通指導隊員等の処遇改善（継続）		担当部署	消防本部総務課 市民部人権生活安全課 教育委員会スポーツ課
実施内容	消防団員、交通安全指導隊員、スポーツ推進委員の処遇改善を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
【消防団員】	調査・検討・消防団本部との調整	手当・報酬額等拡充		
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
【交通安全指導隊員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
【スポーツ推進委員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
52.9	53.0	55.1	未定	未定
47.8				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続
	実績	既存取組	(調査・検討)			
交通安全指導隊の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	(調査・検討)			
スポーツ推進委員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	(調査・検討)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【消防団員】 令和4年度に災害発生時における活動時間に応じた災害出動報酬を新設し、令和5年度に同報酬の拡充を実施した。 【交通安全指導隊】 令和3年度に拡充した分隊割交付金(年額)を、引き続き交付した。 【スポーツ推進委員】 令和3年度に拡充した委員報酬(年額)を、引き続き支給した。
今年度以降の取組予定
【消防団員】 令和6年度及び7年度は、県内の状況等の調査や消防団本部等関係者の意見集約により効果的な処遇改善方法を検討し、令和8年度からの実施を目指す。 【交通安全指導隊】 令和6年度は、近隣市の状況等の調査や各分隊長等関係者の意見集約により効果的な処遇改善方法を検討し、令和7年度からの実施を目指す。 【スポーツ推進委員】 令和6年度は、近隣市の状況等の調査やスポーツ推進委員等関係者の意見集約により効果的な処遇改善方法を検討し、令和7年度からの実施を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 39	消防団長沢分団詰所建替整備		担当部署	消防本部総務課
実施内容	地域における消防活動の拠点である消防団長沢分団詰所の建替整備を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	建替整備			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	8.2	50.2	5.1	
—				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
建替整備工程	目標		実施設計	建替工事	解体工事	
	実績		(実施設計)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に、建て替え後に設置する機能を整理し、必要面積等の検討を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度に実施設計を行い、令和7年度末の完成を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、実施設計に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 40	町内会役員負担軽減事業		担当部署	市民部市民協働国際課	
実施内容	地域コミュニティのＩＣＴ化支援を実施するとともに、町内会負担軽減プロジェクト会議を開催し、町内会役員の負担軽減に資する対策を検討・実施します。				
工程計画					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
地域コミュニティICT活用促進事業費補助 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	町内会ICT講座の開催 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	町内会負担軽減プロジェクト会議の実施 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
1.8	2.3	2.8	2.5	2.8	
1.5					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域コミュニティICT活用促進事業費補助活用町内会数	目標	36団体	44団体	52団体	60団体	68団体
	実績	37団体	(44団体)			
町内会ICT講座実施回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		(2回)			
町内会役員負担軽減取組数	目標		2件	2件	2件	2件
	実績		(2件)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】 令和5年度は、新たに12町内会が地域コミュニティICT活用促進事業費補助を活用して電子回覧板「結ネット」を導入し、回覧物の配布等に係る労力の削減など、町内会運営の負担軽減の取組を実施した。また、40社を超える事業所からの寄附や協賛により、「結ネット」運用費用の継続的な支援体制を構築することができた。 【町内会ICT講座】 先進地事例の調査等により、研修カリキュラム等の検討を実施した。
今年度以降の取組予定
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】 引き続き、補助制度の周知・啓発を図るとともに、町内会における電子回覧板「結ネット」の導入やホームページ作成等、電子化により町内会運営の負担軽減に向けた取組を支援する。 【町内会ICT講座】 各町内会のICT推進員を対象として、地域コミュニティ運営等におけるICT活用の効果や手法を学ぶ講座を実施する。 【町内会役員負担軽減プロジェクト会議】 庁内プロジェクトチームと下部組織である部会を設置し、町内会役員の負担軽減に資する対策を検討し、実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 41		ボランティア・地域貢献企業マッチングシステム の構築		担当部署	市民部市民協働国際課
実施内容		町内会やボランティア団体、地域貢献企業等の協働に向けたマッチングを図るシステムを構築します。			
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	新たなマッチングシステムの構築				
●●●●●●●●	>>>>>>				
協働コーディネート支援事業					
>>>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
		市民協働事業応援補助金の創設			
	●●●●●●●●	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
4.0	4.3	4.9	4.9	4.9	
3.0					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新たなマッチングシステムの構築工程	目標	検討	構築	運用開始		
	実績	検討	(構築)			
協働のコーディネートによりマッチングした団体・企業数	目標	2団体	4団体	4団体	4団体	4団体
	実績	2団体	(4団体)			
市民協働事業応援補助事業の活用団体数	目標		事業検討	5団体	5団体	5団体
	実績		(事業検討)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【新たなマッチングシステムの構築】 令和5年度は、①町内会アドバイザー派遣事業をはじめとした協働に関する「マッチング手法の習得」、②町内会応援事業をはじめとした「団体・事業所等紹介ツール」、③市民協働推進事業補助金をはじめとした「財政的支援」の3つの分野について、制度の統合や既存事業の見直し等の検討を行い、町内会やボランティア団体、地域貢献企業等の主体的活動の活発化を図る新たなマッチングシステムの検討を実施した。 【協働コーディネート支援事業】 上記①の分野に該当する町内会アドバイザー派遣事業を、新たなマッチングシステム構築の一環として先行して見直し、参加対象団体の拡充や新たに4名養成した協働コーディネーター人材バンクの活用を組み込んだ「協働コーディネート支援事業」として構築した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は、先行の協働コーディネート支援事業の実施とあわせ、上記③の手段として「市民協働事業応援補助制度」の制度設計を行い令和7年度からの実施を目指すとともに、①「マッチング手法の習得」、②「マッチング事業所等紹介ツール」、③「マッチング財政的支援」が一体的・総合的に利用できる制度を構築する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
既存の町内会アドバイザー派遣事業を見直した「協働コーディネート事業」を構築する等、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 42	住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充		担当部署	産業環境部環境課	
実施内容	家庭における住宅用地球温暖化対策設備等への補助を拡充します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助制度の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
18.5	22.2	22.2	22.2	22.2	
14.2					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
住宅用地球温暖化対策設備設置補助件数	目標	290件	425件	425件	425件	425件
	実績	240件	(425件)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から段階的に補助メニューや補助件数を拡充してきた住宅用地球温暖化対策設備設置補助事業について、令和5年度は目標件数を下回ったものの、過去4か年で1番多い活用実績となった。(令和2年度:167件、令和3年度:168件、令和4年度:196件)
今年度以降の取組予定
令和6年度は、これまで申請件数が多く年度途中で予算が終了していたホームエネルギーマネジメントシステム(家庭での電気等の使用量をモニターでの見える化や自動制御を行い、エネルギーを節約するための管理システム)とリチウムイオン蓄電池システム設置費補助の件数を大幅に増やすとともに、電気自動車等充給電設備設置を新たに補助対象とする等の補助の拡充を実施し、家庭における再生可能エネルギーのさらなる活用促進を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、補助拡充に係る経費を計上し、これまで需要に応えられていなかったホームエネルギーマネジメントシステムとリチウムイオン蓄電池システム設置費補助枠の拡充や、新たな補助メニューの新設ができたことを評価する。	R5	4
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 43	次世代自動車購入費補助		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	次世代自動車の購入費用に対する補助を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	補助制度の創設			
・ ・ ・ ・ ・	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	6.0	6.0	6.0	6.0
—				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
次世代自動車購入費補助件数	目標		142件	142件	142件	142件
	実績		(142件)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
近隣市の状況等を踏まえ、補助対象や補助額等を検討し、次世代自動車購入費補助制度の要綱を制定した。
今年度以降の取組予定
令和6年度に、個人または中小事業者を対象として、新車購入時に、電気自動車(軽自動車)は3万円、電気自動車(軽自動車以外)は6万円、プラグインハイブリッド自動車は3万円、燃料電池自動車は30万円を交付する補助を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、次世代自動車購入費補助に係る経費を計上し、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 44	中小企業向け省エネセミナー開催		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	事業所におけるカーボンニュートラルの取組を支援する中小企業向け省エネセミナー等を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	省エネセミナーの開催			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
	省エネ設備導入支援事業費補助制度の創設			
.....	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	4.6	8.6	8.6	8.6
—				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
中小企業向け省エネセミナー開催回数	目標		1回	2回	2回	2回
	実績		(1回)			
省エネ設備導入費補助件数	目標		3件	6件	6件	6件
	実績		(3件)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
中小企業等への脱炭素経営支援等を実施している他自治体への視察等を行った上で、省エネセミナーや個別相談等の実施方法を検討し、省エネ設備導入補助制度の要綱を制定した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は省エネセミナーを1回開催し、受講者を対象とする個別相談会やウォークスルー診断(実地診断)を実施し、事業者がエネルギー効率化の経営メリットや企業の社会貢献について理解を深める取組を支援するとともに、実際に省エネ設備を導入する事業者への補助を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算において、中小企業向け省エネセミナー開催や省エネ設備導入費補助に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 45	公共施設のカーボンニュートラル推進		担当部署	産業環境部環境課 財務部財産管理課 施設所管課	
実施内容	公共施設において、ＬＥＤ照明導入による省エネ化や太陽光発電等再生可能エネルギーの活用などによるカーボンニュートラルを進めます。				
工程計画					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
	環境基本計画改定（脱炭素地域ロードマップの策定） >>>>>				
公共施設の照明現状調査・LED照明導入計画		公共施設への計画的なLED照明設置導入 >>>>>		>>>>>	
公共施設への太陽光発電システム導入可能性調査		公共施設への計画的な太陽光発電システム設置導入 >>>>>		>>>>>	
市民向け電気自動車用充電器の設置 >>>>>				>>>>>	
	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
0.0	13.5	未定	未定	未定	
0.0					

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公共施設へのLED照明導入	目標	FM関連事業	FM関連事業	導入	導入	導入
	実績	8施設	（2施設）			
公共施設への太陽光発電システム設置	目標		調査・検討	導入	導入	導入
	実績		（調査・検討）			
市民向け電気自動車用充電器の増設 件数	目標		1件（取替）	1件	2件	2件
	実績		（1件（取替））			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【公共施設へのLED照明導入】 令和5年度に、FM（ファシリティマネジメント）関連事業として施設改修等と一体的にLED照明に切り替える手法で、8施設にLED照明を導入した。 【公共施設への太陽光発電システム設置】 PPA（初期投資0円で発電設備を設置しその電気を利用する手法）を活用した、太陽光発電システムの設置が可能な施設の調査を実施した。 【市民向け電気自動車用充電器の増設】 初期設置費用がかからない形での電気自動車用充電器の導入手法を調査・検討した。
今年度以降の取組予定
【公共施設へのLED照明導入】 令和6年度は、FM関連事業でLED照明を2施設に導入する。令和7年度以降は、令和6年度に改訂する環境基本計画に位置付けた上で、導入を進める。 【公共施設への太陽光発電システム設置】 令和6年度は、太陽光発電システム設置施設の詳細な検討を実施し、令和7年度以降の導入を進める。 【市民向け電気自動車用充電器の増設】 初期設置費用がかからない形で、令和6年度は市役所北庁舎東側の急速充電器の取替を行い、令和7年度以降は、支所等への普通充電器の設置を計画的に実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度予算において、電気自動車用充電器設置等に係る経費を計上し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 46	パーク・アンド・ライドの推進（継続）	担当部署	都市整備部市街地整備課		
実施内容	交通系ＩＣ未整備駅への早期導入の促進を図るとともに、鉄道駅に近接する公共駐車場の拡充整備等を実施し、パーク・アンド・ライドを推進します。				
工程計画					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等 					
公共駐車場精算機の交通系IC対応 					
愛知御津駅前公共駐車場第2整備 			八幡駅前公共駐車場整備検討 		
16.8	50.0	0.0	17.3	5.0	
16.6					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等工程	目標	要望活動等	要望活動等	整備		
	実績	要望活動等	(要望活動等)			
公共駐車場精算機の交通系IC対応工程	目標		豊川駅東		西小坂井駅	
	実績		(豊川駅東)			
八幡駅前公共駐車場整備検討	目標				調査・研究	検討業務
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等】 JR東海への整備要望活動等を実施し、令和7年春に、飯田線三河一宮駅から本長篠駅間での交通系ICカード利用エリアが拡大されることが発表された。 【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】 令和5年度は、豊川駅東駐車場における交通系IC対応機器の整備工事に向けた検討・調整を行った。 【愛知御津駅前公共駐車場第2整備】 令和5年度は、令和4年度に供用を開始した愛知御津駅前公共駐車場第2整備個所の外構・フェンス工事を実施した。
今年度以降の取組予定
【交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等】 引き続き、JR東海への早期整備要望活動等を実施する。 【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】 令和6年度は、豊川駅東公共駐車場精算機の交通系IC対応整備を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 47	職員の適正配置と職員研修の充実		担当部署	総務部人事課
実施内容	職員の適正配置と定員管理を行うとともに、愛知県等への職員派遣、政策立案研修、ハラスメント防止研修等を継続して実施します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	第7次定員適正化計画策定	第7次計画に基づく適正配置		
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
愛知県等への職員派遣				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	政策立案研修の充実			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
ハラスメント防止研修の実施				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
0.8	1.2	1.2	1.2	1.2
0.8				

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員定員数(目標)と実人数(実績) ※実績(実人数)は毎年4/1現在値	目標	1,227人	1,246人	1,267人	未定	未定
	実績	1,209人	1,255人			
愛知県等への職員派遣人数	目標	4人	4人以上	4人以上	4人以上	4人以上
	実績	5人	6人			
政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	(3回)			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【職員定員数と実人数】 第6次定員適正化計画に基づき、令和5年度は、1,209人を配置した。 【愛知県等への職員派遣】 令和5年度は、愛知県へ4人、国の機関へ1人の派遣を実施した。 【政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数】 令和5年度は、政策立案研修を各部から推薦された15人に対し1回実施した。ハラスメント防止研修は、課長級職員26人に対し1回、新任係長級職員29人に対し係長研修のカリキュラムの一環として1回実施した。
今年度以降の取組予定
【職員定員数と実人数】 令和6年度(4月1日現在)は、1,255人を配置した。また、第7次定員適正化計画を策定する中で、令和8年度以降の適正定員数を定める。 【職員派遣の増員】 令和6年度は、愛知県へ5人、国の機関へ1人の派遣を実施した。 【政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数】 令和6年度は、政策立案研修は各部からの推薦職員とあわせて30代以下の職員を公募するとともに、開催日数を増やし内容を充実させる等、研修の充実を図る。また、ハラスメント防止研修は前年度と同規模で実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度は、職員定員数の目標を超える職員数を確保する等、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 48	ファシリティマネジメント（一宮地区公共施設再編事業）		担当部署	財務部財産管理課	
実施内容	令和11年度の全面供用開始を目指し、一宮地区の公共施設再編整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
一宮地域交流会館（仮称）整備					
>>>>>>		>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
56.6	131.3	未定	未定	未定	
57.1					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
一宮地域交流会館（仮称）整備工程	目標	基本設計	実施設計	工事(複合施設)	工事(複合施設)	工事(体育施設)
	実績	基本設計	(実施設計)			
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年3月に策定した一宮地区公共施設再編整備基本計画に基づき、令和5年度に基本設計を実施した。
今年度以降の取組予定
令和6年度は実施設計を行い、令和7年度から一宮地域交流会館（仮称）の整備工事に着手する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 49	合併推進債を活用した本庁舎建替整備		担当部署	財務部財産管理課	
実施内容	有利な起債である合併推進債を活用し、新本庁舎等の建替整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
本庁舎等整備基本構想 >>>>>>					
本庁舎等整備基本計画 >>>>>>					
	>>>>>>				
	分庁舎整備実施設計 >>>>>	分庁舎整備工事 >>>>>	>>>>>		
	本庁舎整備基本設計・実施設計 >>>>>			本庁舎整備工事 >>>>>	
37.0	167.6	未定	未定	未定	
16.1					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
分庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	実施設計	整備工事	整備工事・供用開始	供用開始
	実績	基本構想・基本計画	(実施設計)			
本庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	基本計画・基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	整備工事
	実績	基本構想・基本計画	(基本計画・基本設計・実施設計)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年9月に、本庁舎等整備の基本構想を策定し、基本計画の策定に着手した。
今年度以降の取組予定
令和6年8月に基本計画を策定し、令和6年度末までに基本設計・実施設計に着手する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和5年度に基本計画策定に着手する等、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	
	R7	
	R8	

1. 工程計画

提 案 50		臨時財政対策債（赤字地方債）未発行		担当部署	財務部財政課
実施内容		臨時財政対策債の未発行により、健全な財政運営を堅持します。			
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	臨時財政対策債の未発行				
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	—	—	—	
—					

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
臨時財政対策債の当初予算計上額	目標	—	0円	0円	0円	0円
	実績	2億円	0円			
【参考】臨時財政対策債の決算額	目標	2億円	0円	0円	0円	0円
	実績	0円	(0円)			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、臨時財政対策債借入れを予定する当初予算を編成したが、決算では未発行とした。
今年度以降の取組予定
市税等の動向に注視しつつ、財政調整基金などの残高確保に努めるとともに、国県補助等の積極的な活用などにより、引き続き臨時財政対策債を未発行とする。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度当初予算の歳入において、臨時財政対策債を計上せず、提案を実現したと評価する。	R5	5
	R6	
	R7	
	R8	